

新庁舎の建物配置

建物配置にあたり配慮する事項

配慮事項	具体的な手法
景観	<ul style="list-style-type: none">① 建物は前面道路から十分な「引き」を確保して配置し、建物による圧迫感の無い計画とする② 建物と前面道路の間には広場や植栽等を配置する③ 駐車場は建物や広場の背面に配置する
歩行者動線	<ul style="list-style-type: none">④ 車両動線と交錯することなく安全に建物へアプローチできる計画とする
車両動線	<ul style="list-style-type: none">⑤ 前面道路から来庁者駐車場の位置が分かりやすい計画とする
敷地内バス乗入	<ul style="list-style-type: none">⑥ 敷地内にコミュニティバスの乗り入れ可能とし、建物から雨に濡れずにバスに乗降できる計画とする
消防署連携	<ul style="list-style-type: none">⑦ 防災拠点としてヘリポートも備える南九州消防署と連絡・連携がしやすいように、建物や広場が消防署と近接する計画とする

新庁舎の建物配置

建物配置の考え方



- ①道路からの「引き」確保、②広場等の確保、③建物や広場の背面に駐車場を配置、④安全な歩行者動線、⑤前面道路から分かりやすい来庁者駐車場、⑥バス乗り入れ、⑦消防署との連携

※この比較表は新庁舎建物の配置を検討するもので、建物の形状や向きを決定するものではない

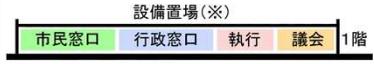
- 「建物配置にあたり配慮する事項」を遵守した上で、A案～C案の配置の考え方に基づき、基本設計において具体的な計画（※）を行うこととする。

（※）建物の平面・立面の形状や階構成の設定も含む

新庁舎の階構成

階構成の考え方

(※) 【1～4階案共通】倉庫棟は別棟で計画を想定、屋上設備置場は目隠し壁等により景観配慮

	1階建案	2階建案	3階建案	4階建案
断面イメージ	 <p>市民窓口 行政窓口 執行 議会 1階 設備置場(※) 新庁舎</p>	 <p>行政窓口 執行 議会 2階 市民窓口 行政窓口 1階 設備置場(※) 新庁舎</p>	 <p>行政窓口 議会 3階 行政窓口 執行 2階 市民窓口 1階 設備置場(※) 新庁舎</p>	 <p>行政窓口 議会 4階 行政窓口 執行 3階 行政窓口 市民窓口 2階 市民窓口 1階 設備置場(※) 新庁舎</p>
建物高さによる景観への影響	○ ←			→ △
市民窓口の1階への集約化	○ ←			→ △
目的の窓口まで歩行距離	△ ←			→ ○
階によるゾーニング・セキュリティ計画	△ ←			→ ○
EV、階段、トイレの面積が節約	○ ←			→ △
奥行の深さによる自然採光への影響	△ ←			→ ○
基礎・地下躯体の延床面積に占める割合	△ ←			→ ○
評価	△	○	○	△

- 新庁舎の階構成はこれら指標を踏まえ、2階建または3階建を基本として、基本設計において決定することとする。
- 市民にとって利用しやすくコンパクトな庁舎を実現する階構成とする。